

蒲生干潟の植物51 分布調査

2025年12月16日



調査日 2025年12月16日 (火) 13:30~15:00

主にヨシの分布とクロマツの幼木の生育状況の確認を行った。Fig. 1周辺のヨシは大きく成長した草体の群落になっている。防潮堤付近では2mをゆうに超える大きさである。Fig. 2周辺では丈の低いヨシがまばらに広がっており、2024年12月の調査以降に新たに成長してきた範囲であると分かる。Fig. 3は潟湖北端付近であり、Fig. 3の地点がヨシの分布の北端部分でもある。高さは1.8mほどまで成長している。Fig. 4は潟湖東側の汀線沿いの様子である。2024年12月の調査では小さな群落がいくつか見られたが、現在は潟湖汀線に沿って広がる1つの大きな群落になっている。Fig. 5のクロマツは現在見られる最も小さな幼木で高さは0.3mほどである。Fig. 6のクロマツは最も大きく1.8m、幅は2.5mほどに成長している。このクロマツは2021年の調査で初確認され、2024年11月時点で1.5mほどであったと記録されており順調に成長している。Fig. 7周辺はコマツヨイグサ、メマツヨイグサが生育している範囲である。今後の広がりを注視していきたい。

※「オオマツヨイグサと見られる」としていた個体は改めて同定をした結果メマツヨイグサに修正。

(伊藤勝彦)